

広報かるまい Karumai 4

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

Apr. 2021
vol.745

伝えたい、感謝の気持ち——

【表紙・特集】

ありがとう、軽米幼稚園。

卒園式

3月17日に最後の卒園式が執り行われ、卒園する8人の園児が堂々と卒園証書を受け取りました。



↑卒園証書を受け取る園児



↑保護者に花束を贈りました

閉園式

卒園式終了後に執り行われた閉園式には園児や先生、幼稚園評議員などが出席し、園との別れを惜しまました。



↑国旗の返納



↑大好きな幼稚園の思い出を発表する園児たち

軽米幼稚園 園歌

作詞 軽米幼稚園
作曲 舞田公子

一、あけびがからむ アーチをくぐり
ニコニコえがおで ごあいさつ
ぶらんこ ターザン すなあそび
きょうは なにしてあそぼうかな
いつも げんきで じょうぶなこと
かるまい かるまい ようちえん

二、たのしいへやに みんなあつまり
はずんだこえで へんじする
ままごと おえかき ブロックあそび
きょうは なにをしようかな
いつも あかるく かしこいことも
かるまい かるまい ようちえん

三、うらのおにわは たんぼぼはらっぱ
そっとしゃがんで みみすまし
ちようちよ こおろぎ かたつわり
きょうは なにとはなそうかな
いつも なかよく やさしいことも
かるまい かるまい ようちえん



Special Feature

ありがとう、軽米幼稚園。

地域に愛され、ともに歩んできた軽米幼稚園が3月をもって閉園し、長い歴史に幕を閉じました。今月は写真と関係者の話から幼稚園の歴史を振り返ります。



軽米幼稚園 園長
まきほろ 小林 昌治 さん

軽 米幼稚園は令和3年3月末日をもって、52年の歴史に終止符を打ち、閉園することになりました。

本園は昭和44年に創設され、平成5年に現在の場所に新築移転し、これまで1837人の卒園生を輩出してきました。

本園の特色ある活動となっていたのはPTA活動です。発足以来、本園の諸活動に側面からご支援、ご協力いただき、平成17年度から2年間は岩手県国立PTA連絡協議会事務局として活動し、県PTA研究大会を見事に成功させました。

また、親子歯磨き指導、親子安全教室、親子フェスティバルなど保護者と教職員が心を通わせ協力する活動が評価され、平成30年度に岩手県表彰を、令和

元年度には文部科学大臣表彰を受賞しました。これらの受賞は本園PTAの日常の活動に対する高い評価であるとともに、地域とともに歩んできた本園の歴史への評価だと思えます。

このように軽米幼稚園には、家庭・地域・園が一体となり、ともに創りあげてきた大きな財産があります。閉園により残念ながら園はなくなりますが、この大切な財産は地域の幼児教育に残り続けると確信しています。最後に、これまで本園の教育活動にご理解とご協力をいただきました保護者や地域の皆様をはじめ関係機関の皆様にご心からの敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。



INTERVIEW

閉園に寄せる思い——

幼稚園最後の年に子どもたちと過ごした先生やかつての先生、保護者の方々は、閉園の寂しさやよみがえるたくさんの思い出を語ります。



閉園記念誌部会顧問
館下 浩子^{ひろこ}さん



閉園記念誌部会顧問
君成田 美代子^{みよこ}さん



閉園記念事業 実行委員長
級久保 美香^{みか}さん



軽米幼稚園 主任教諭
山仁 江利子^{えりこ}さん



軽米幼稚園 教諭
平船 葵子^{きこ}さん



軽米幼稚園 上席主任教諭
下斗米 敏^{とし}さん

ホンワカ・ワクワク・ドキドキの体験ができる場

かつては先生として、今は「お茶会」の指導を通して幼稚園と関わり続けてきました。子どもたちの行動から、決して上から目線で教え込むのではなく、子どもの行動を見て内面を見ていくことなどたくさんのことを学びました。実は子どもを育てることは親が保育者として育っていくことだと実感させられました。「育児は育自」そのものでした。

幼稚園は子どもたちが十分に遊び始めるだけの時間と場所と人の関わりを整え、ホンワカ・ワクワク・ドキドキの体験ができる場だったと思います。そんな屈託のない子どもたちをいつも温かく包み応援して下さった父母、地域、行政の方々に感謝します。

園歌を作ったのがなつかしい思い出

先生として過ごした6年半の幼稚園生活の中でたくさんの貴重な体験をさせてもらいました。海遠足でのカニ探し、お泊り保育での宝の地図探し。発見できた時のうれしそうな顔は今でも浮かんできます。運動会、発表会などいろいろな行事をするたびにたくましくなっていく園児の姿に驚いたものでした。

昭和55年頃、当時の園長先生から園歌を作りましょうかと提案があり、職員で検討し素晴らしい園歌が出来上がりました。「あけびがからむアーチを…」大好きな園歌です。子どもたちもいつも元気に歌っていました。またいつか歌える日が来る事を願うとともに、幼稚園に携わった全ての皆様に感謝申し上げます。

幼稚園に対する強い思いを感じた

閉園記念に関わる事業の委員長として、幼稚園最後の年に深く関わらせていただきました。閉園について協議した際には、在園児保護者や地域の皆様の幼稚園に対する強い思いを感じました。時代の流れの中で子どもたちが減り、「閉園やむなし」という雰囲気の中でも「大切にしたいこと」があることを確認できる場面や子どもたちを思う親の温かい思いが感じられた瞬間がありました。

自分自身が幼稚園を卒園し、子どもも今年卒園するなどご縁を感じていたので、閉園はとても寂しいです。

最後に、閉園記念事業実行委員会に多大なご支援、ご理解をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

幼稚園は自然の中で のびのび過ごせる場所

幼稚園は自然の中で のびのび過ごすことのできる場所でした。園庭では木登りや虫とり等を楽しみ、その中でもアケビやサルナシを自分で採り食べることができ感動しました。野外活動ではフォレストパークを中心にいろいろな所へ出かけました。トノサマバツヤやカナヘビを夢中になって追いかけたことは忘れません。

この1年間は今の幼稚園でしか体験できないことをフルに体験できるよう、職員で相談しながら進め、子どもたちと一緒に楽しんできました。子どもたちといろいろな体験をし、いろいろと教えてもらいました。子どもたちには笑顔と元気をもらい感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

子どもたちと一緒に成長させていただいた

学生時代、軽米幼稚園で実習させていただきました。約1カ月にわたる実習の中で、のびのびとした子どもの姿、明るく楽しく子どもたちと接する先生方の姿を見て、幼稚園で働く魅力を感じました。縁あって働き始めたのですが、閉園してしまうということを知りとても残念に思います。毎日のように広い廊下にカラー積み木を並べ、ああしよう、こうしようといふアイディア満載のままごと遊びをしたこと、園舎の周りをかけめぐり自然探し、虫探しが夢中でしたこと、実習の時から今月まで経験してきたこと全てが思い出となりました。この軽米幼稚園で子どもたちと共に成長させていただきました。本当にありがとうございました。

いつまでも皆さんの心の中に残ることを願う

軽米幼稚園に異動になり3年、たくさんのことを学び体験させていただきました。この1年間は子どもたちと一緒に過ごしてもらえようスキンシップを多く取るよう心がけました。今年の子どもたちは自然が大好きで、一緒に虫とりをしたことが楽しい思い出です。

閉園となりますが、軽米幼稚園がいつまでも皆さんの心の中に残ることを願っています。また、子どもたちには、幼稚園での楽しかった思い出をずっと忘れないでほしいです。こども園に行く子は、たくさん友達を作っているいろいろな遊びを楽しんでもらいたいです。幼稚園に関わってくださった全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。

最後の1年を過ごした園児たち



内澤 心くん



大鳥 那夢さん



大村 啓悟くん



小松 希々叶さん



坂本 宗介くん



外山 凜愛さん



館下 結人くん



級久保 琥泊くん



田中 希歩くん



川島 選也くん



Thank you for all the memories.



特集 ありがとう、軽米幼稚園。

たくさんの思い出を ありがとう——

52年の歴史に幕を下ろした軽米幼稚園——。自分が育ち、慣れ親しんだ場所がなくなる寂しさは大きくても、ここで過ごした日々や思い出が消え去ることはありません。4月からは軽米保育園と統合した「花のまち・軽米こども園」がスタートします。そこには、園はなくなっても、幼稚園を支え、園児を見守ってきた地域の温かい教育が注がれ続けるはずです。(完)



令和3年度 施政方針

3月2日から開かれた町議会定例会で、山本賢一町長が令和3年度の施政方針を述べ、本年度にかけの決意を表明しました。施政方針の要旨をお伝えします。



動の支援 ▽オリンピック・パラリンピック関係事業の実施 ▽自発的な運動習慣の定着を促進する「健康ポイント事業」の実施 ▽糖尿病の重症化や脳卒中を予防する事業の実施 ▽家庭訪問事業、相談体制の強化、ゲートキーパーの養成等による自殺対策 ▽高齢者保健事業と介護予防事業の一体的な取組によるフレイル予防 ▽医療費の適正化 ▽シニア人材センターの運営支援 ▽老人クラブの活動支援 ▽認知症への理解、地域での助け合い・支え合いの意識啓発 ▽地域包括ケアシステムの推進 ▽自立支援給付、地域生活支援事業等による障がい者支援

子育て環境日本一を目指すまちづくり

▽母子の個別プランの作成 ▽子育てに関する研修会の実施 ▽高校生までを対象とする医療費助成の継続 ▽インフルエンザ予防接種費用の助成継続 ▽妊産婦健診に係る交通費助成継続 ▽SNSを活用したタイムリーな子育て情報の発信 ▽児童クラブ送迎事業の継続 ▽保育園の副食費を無料化 ▽未満児保育料の副食費相当分を減額 ▽認定こども園「花のまち軽米こども園」の運営 ▽学力向上支援員と特別支援員を全

学校に配置 ▽一人につき1台タブレットを支給 ▽電子黒板の整備 ▽中学生までの給食費完全無料化 ▽食材の地産地消と郷土食のメニュー化 ▽通学補助の拡充等による軽米高校支援

資源を活かした地域産業のまちづくり

▽町の資源の6次産業化 ▽地域農業マスタープランの実質化による農用地の保全 ▽親元就農給付金事業による担い手の確保・育成 ▽新岩手農業協同組合が事業主体となるライスセンター整備の支援 ▽新価格保証制度への助成継続 ▽和牛の産地づくりを継続支援 ▽森林資源の有効活用 ▽広葉樹里山森林資源活用事業等の実施 ▽大規模養鶏団地、大規模園芸施設の誘致 ▽商工会や商店街活動の維持、経営基盤の強化 ▽プレミアム付き町内共通商品券の発行 ▽かるまいお買い物ラリーの継続

多様な交流が生まれる魅力あるまちづくり

▽観光イベントに創意工夫を加え、交流人口拡大を目指す ▽軽米秋まつりの前夜祭で山車の競演を計画 ▽広域連携による観光PR、情報発

新型コロナウイルス

▽65歳以上の高齢者へのワクチン接種を速やかに開始するため、担当課の職員を2名増員。準備が整い次第、順次案内する

かるまい交流駅（仮称）整備事業

▽工事現場から出土した医療廃棄物等を適正に処理し、令和2年度予定工事の一部を繰り越す

祝金制度の見直し

▽社会情勢の変化に鑑み、祝金制度の支給対象と支給額を見直した

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

▽クリーンアップデーの継続 ▽花いっぱい運動推進事業、チューリップ植栽事業の周知強化 ▽メガソーラー施設、風力発電施設の適切な進捗管理 ▽町内施設で発電された電力を町内供給するための取組推進 ▽電気自動車を購入、家庭用太陽光発電設備の整備費用を補助する「ゼロカーボン推進事業費補助金」の創設

一人一人がいきいき暮らすまちづくり

▽自治公民館等を中心とした地域活

信の強化 ▽地域おこし協力隊の募集 ▽首都圏での移住イベントで町をPR ▽空き家活用への補助金 ▽移住体験補助金の創設 ▽ふるさと納税専用サイトの拡充 ▽郷土芸能保存会への支援 ▽「長倉遺跡」出土資料の企画展を開催

共に支え合う安心・安全なまちづくり

▽高齢者と子どもを重点とした交通安全教室の開催、街頭啓発活動の実施 ▽参勤街道線等4路線の改良工事 ▽自主防災組織の結成・活動支援 ▽防災士の資格取得支援継続 ▽小型ポンプ積載車の更新（第2分団第2部） ▽老朽化した管路の計画的な更新 ▽未給水区域の飲用水の確保対策として新たな助成制度の創設 ▽町営住宅の建設（戸建て6棟） ▽一般住宅の耐震診断、耐震改修工事への助成 ▽住宅リフォーム奨励事業の交付限度額の見直し ▽補助金を交付し地域の主体的な活動を支援 ▽若者会議の開催

社会変化に対応した行財政運営

▽健全な財政運営に努める ▽ICT環境の変化に対応した広報・情報発信媒体の有効活用

飲用水確保対策事業



未給水区域の飲用水の確保対策として助成制度を創設します。

200万円

地域活性化起業人活用促進事業



民間企業に所属したまま地域に入って活動する地域活性化起業人を雇用します。

560万円

ライスセンター整備事業



新岩手農業協同組合が事業主体となるライスセンター整備を支援します。

2億8,621万円

児童生徒給食費無償化事業



小中学校の学校給食費を完全無料化します。

3,738万円

ゼロカーボン推進事業



電気自動車の購入、家庭用太陽光発電設備の整備費用に補助金を交付します。

228万円

令和3年度の新規事業

※写真下は予算額

令和3年度 教育行政方針

町定例議会で菅波俊美教育長が示した令和3年度教育行政方針の要旨をお伝えします。

学校教育の充実

▽新学習指導要領に的確に対応した「わかる授業」の実現
▽学校訪問指導、研修等の充実による教員の授業力向上
▽全学校に学力向上支援員を継続配置
▽外部講師を招いての学習会の開催
▽英語・漢字・数学検定の受検料を助成
▽新聞教育の継続
▽職場体験学習の実施
▽小学校、中学校に英語指導助手を配置
▽英語発表会、イングリッシュデイを実施

生涯学習の推進

▽協働参画による生涯学習のまちづくりを推進
▽生涯学習カレンダーの全戸配布
▽自治公民館活

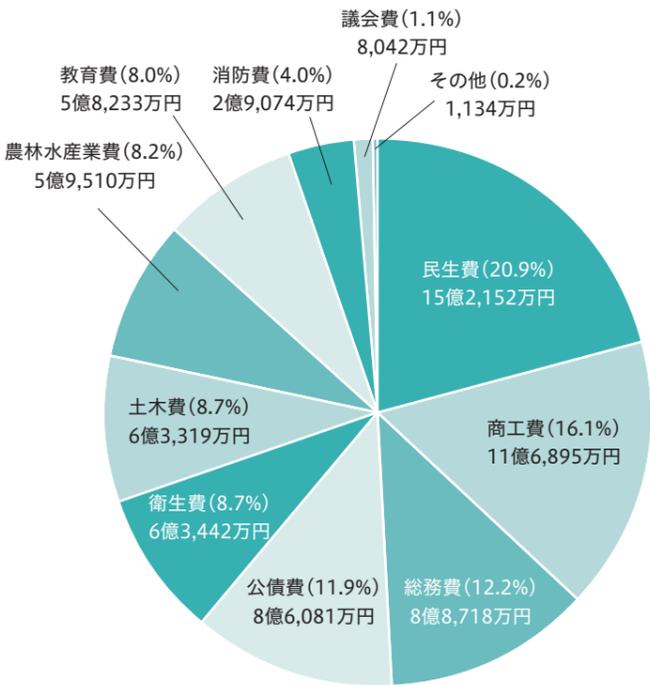
▽海外派遣事業を実施
▽ICT機器を効果的に活用した授業づくりのための研修を充実
▽道徳教育の充実
▽学校教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、福祉関係機関と連携し、児童生徒に寄り添った教育相談体制を確立
▽児童生徒に対する注意深い見守りと定期的なアンケートや面談の実施によるいじめの防止
▽身近な自然の観察やリサイクルなどの体験活動機会を提供
▽スポーツに親しむ習慣づくりを推進
▽発達段階に応じた栄養管理と地産地消を取り入れた食育指導の推進
▽特別支援教育の充実
▽軽米小学校でコミュニティ・スクールを開始
▽各学校のホームページや通信等で積極的に情報を発信
▽各学校の要望に沿った備品整備
▽中高6年間を見通した地域学習（かるまい学）の取組や交流授業の実施
▽軽米高等学校の存続のため、質の高い学習活動を支援
▽実践的な教員研修を実施

動等地域での生涯学習活動を支援
▽子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開催
▽放課後子ども教室を設置
▽学校図書を活用促進
▽音更町相互訪問研修会や子ども会リーダー研修会など体験的な活動機会の提供
▽寿大学、共食事業等を開催し、活動の場づくりに努める
▽利用しやすい中央公民館を目指した施設の運営管理
▽町立図書館の蔵書と図書館機能の充実を図り、利用者サービスの向上に努める
▽読書のつどい等の各種事業を展開

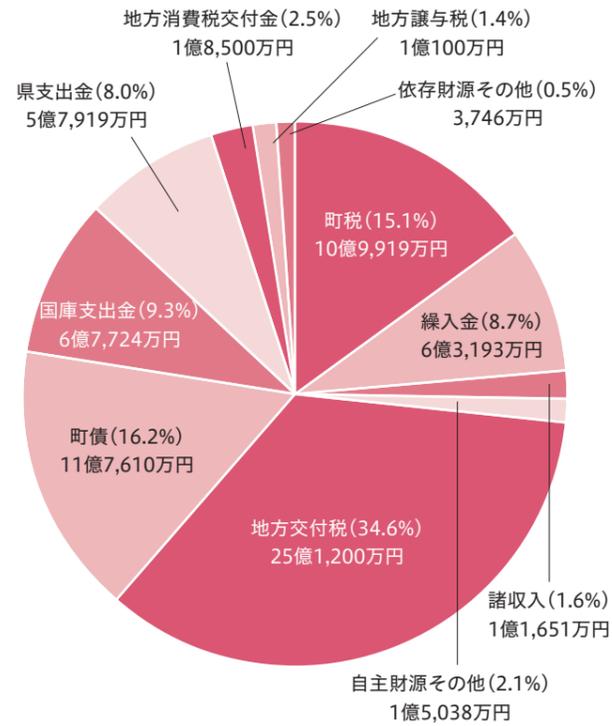
スポーツ・文化の振興

▽スポーツ施設の利用促進
▽健康づくり事業と連携した事業を推進
▽町民体育祭、チャレンジデーを開催
▽各種団体が主催するスポーツ活動を支援
▽オリンピック・パラリンピック関連イベントを実施し機運醸成を図る
▽パラリンピック競技の体験機会を提供
▽町民文化祭、郷土芸能発表会、生涯学習フェスティバル等を各団体と共同開催し、芸術文化の振興を図る
▽郷土芸能活動や後継者の確保などを継続支援
▽埋蔵文化財など貴重な文化遺産の適切な記録・保存

一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和3年度一般会計当初予算

72億6,600万円

本年度の町づくりにかかる予算は、昨年度から5億3,100万円の増額となりました。予算の概要についてお知らせします。

■会計別当初予算額

会計名	当初予算額	対前年度
一般会計	72億6,600万円	7.9%
特別会計	国民健康保険特別会計	11億1,400万円 △4.0%
	後期高齢者医療	1億150万円 3.9%
	介護保険	2,701万円 △18.2%
	下水道事業	1億1,723万円 △27.2%
	水道事業	6億5,708万円 4.6%
総額	92億8,282万円	5.3%

令和3年度予算については、2年度目となる「かるまい交流駅（仮称）整備事業」やJA新岩手のライスセンター建設に係る「強い農業・担い手づくり総合支援事業補助事業」のほか、新型コロナウイルス対策事業などにより、昨年度に比べ、7.9%、5億3,100万円増の72億6,600万円の予算額として編成しました。

歳入は、町税の確保や適正な受益者負担をお願いしつつ、ふるさと納税などの自主財源の確保に努めます。歳出は、事業目的の達成度や費用対効果の検証による事務事業の見直し、地域活性化や福祉の向上、学校教育環境の充実など優先的事業への重点配分、健全財政の維持に努め予算編成しました。しかし、4億9千万円余りの財源不足が生じたため、財政調整基金により調整しました。

新年度の財政運営は、将来的負担の軽減と健全財政の維持を図るため、創意工夫により一層効率的な予算執行に努めていきます。（施政方針より要約）

令和3年度の 主要事業

※写真下は予算額

ICT活用授業の推進



909万円

タブレットや電子黒板等を活用した授業づくりを推進します。

オリンピック・パラリンピック関連事業



300万円

オリンピック・パラリンピック開催の機運醸成につながる事業を実施します。



↓答申する苅谷会長



総合開発審議会答申

昨年8月から計画の内容について審議を続けてきた総合開発審議会（苅谷雅行会長）から町に対し、「計画の原案について異議はない。審議の過程で出された意見等を十分尊重のうえ、積極的な施策の展開を図りたい」と答申がありました。

COMPREHENSIVE PLAN

未来への羅針盤

総合発展計画(2021-2030)を策定

まちの将来像を達成するための政策

1 豊かな自然と美しい景観のまちづくり

- ・豊かな自然環境の保全
- ・地球温暖化対策の推進
- ・バイオマス産業都市構想の推進
- ・ごみ減量化の推進

2 一人一人がいいき暮らしまちづくり

- ・生涯学習の推進
- ・スポーツ活動の活性化
- ・保健対策の充実と医療体制の維持
- ・高齢者の生きがいづくりの推進
- ・福祉の充実

3 子育て環境日本一を目指すまちづくり

- ・子育て支援環境の充実
- ・教育の充実

4 資源を活かした地域産業のまちづくり

- ・かるまいブランドの推進
- ・農林畜産業の振興
- ・商工業の振興

5 多様な交流が生まれる魅力あるまちづくり

- ・観光産業の推進
- ・移住・定住・交流事業の推進
- ・伝統文化の継承

6 共に支え合う安心・安全なまちづくり

- ・安全な暮らしのための環境づくり
- ・快適な生活環境の整備
- ・協働によるまちづくりの推進

7 社会変化に対応した行財政運営

- ・ニーズに対応した行政サービスの提供

総合発展計画の構成



計画期間は令和3年度から令和12年度までの10カ年とし、前期と後期それぞれ5カ年の基本計画で構成します。

町の将来像

一人一人の活力と
思いやりが循環するまち

総合発展計画が目指す10年後の町の姿です。この将来像を達成するために、左ページ7つの政策を進めます。

基本目標① まちの資源を活かした持続可能な発展の実現

交流人口 年間30万人

「観光入込客数」+「施設利用者数」の合計を交流人口とし、令和12年の交流人口30万人/年を目標とします。

基本目標② 協働による課題解決を通じたまちの「住みよさ」の向上

町民意識調査における
「軽米の住みよさ」80.0%以上

「軽米町はあなたにとって住みよいところですか?」の回答「非常に住みよい」「まあまあ住みよい」を合算した回答率80.0%以上を目標とします。

町の最上位計画

これからの軽米町をどのように作っていくか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものが「総合発展計画」です。この総合発展計画は、町のあらゆる計画の最上位に位置するもので、10年後の町の将来像を描きながら策定されます。町が行う全ての事業はこの総合発展計画に基づいて実施され、これにより福祉や教育、基盤整備などさまざまな分野を一つの方向性のもと計画的に推進していくことが可能になります。

町民の意見を町政に

町がこの度策定した総合発展計画は、令和3年度から令和12年度までのまちづくりの指針を定めたもの。策定にあたっては、町の未来を担う若者のニーズを計画に反映させる必要があると考え、「軽米町若者会議」を開催しました。また、パブリックコメントや総合開発審議会を実施し、福

祉や観光、子育てなどさまざまな分野について多角的な意見を出していただき、いただいた意見を計画に反映させるべくこれまで検討を重ねてきました。

10年後の町の姿

計画が目指す10年後の町の姿は「一人一人の活力と思いやりが循環するまち」です。今後10年間、変化の激しい社会情勢などに対応していくためには、一人一人が町全体の発展に臨む「活力」と、安全・安心で充実した暮らしをつくり出す「思いやり」を発揮していく必要があります。この一人一人の行動がまた次の誰かの行動を生み出し、「活力」と「思いやり」が循環するまちを目指し、町づくりを進めていきます。



総合発展計画の詳細は、町HPで公開していますので、ご覧ください。

1,2 お世話になった両親へ卒業証書を手渡し感謝の気持ちを伝えました



感謝の巣立ち

小軽米小学校（小田島誠一校長）の卒業式が3月19日に同校体育館で開かれ、卒業生7人が保護者や恩師への感謝の気持ちを胸に、思い出の詰まった小学校を巣立ちました。参加者全員マスク着用などの感染症対策が施される中、卒業生は小田島校長から卒業証書を受け取るとステージを下りて保護者の元へ向かい、証書を手渡しました。

卒業生7人は声を揃え「私たちはこれからも諦めずに努力する気持ちを大切に、仲間と心を合わせ大きな希望を持って頑張ります」と中学校生活への決意を新たにしました。

会場の外には、卒業生の写真が切り抜かれたフォトスナップが飾られ、卒業生は小学校生活の思い出を懐かしむように眺めていました。

1 大きな声で「ありがとうございます」と言って証書を受け取りました
2 「卒園式のうた」を歌う卒園児3人



大きな声で ありがとうございます

笹渡保育園（中村由季園長）の卒園式が3月18日に開かれ、卒園児3人が慣れ親しんだ保育園に別れを告げ、新たなスタートを切りました。卒園児はステージに上がり中村園長から保育証書を受け取ると「ありがとうございます」と元気にお礼をしました。

中村園長は「保育証書を受け取る皆さんの姿は堂々としていてとても立派でした。小学校に行っても大丈夫。夢をかばの歌にもあるように枝をぐんぐん伸ばしてきれいな花をたくさん咲かせてください」と園児に声をかけました。

その後、卒園児は遠足やプール遊びなど1年間の思い出を季節ごとに発表。最後は在園児と一緒に「卒園式のうた」を歌って、成長した姿を保護者に見せました。

未来へ向かって

コロナ禍に伴う学校生活の変化にも負けず1年を過ごし、卒業の日を迎えた子どもたちの様子を写真を中心に伝えたいと思います。



写真は小軽米小学校の卒業式。退場する場面では、しっかりと前を向き未来へ向かって歩き出しました

1 卒業式後、晴れやかな表情でインタビューを受ける 2 後輩からのプレゼントに大喜び



人生の新たな 一歩踏み出す

軽米高校（金濱千明校長）の卒業式が3月1日に開かれ、卒業生43人が伝統の学び舎に別れを告げ、人生の新たな一歩を踏み出しました。

卒業生を代表し松橋駿人さんは「さまざまな行事が中止となった悔しさをばねに、1年間、進学や就職の活動を本気で頑張ってきた。変化の激しい中で、先生方、家族、在校生のみなさんの支えのおかげで今日という日を迎えることができました。本当にありがとうございました」と感謝の気持ちを述べました。

※軽米高校卒業式の様子は31ページ「軽高だより」でも紹介しています。



答辞を述べた内澤さん。あふれる涙をこらえながら、原稿に頼らず前を見据え、力強く話す姿が聴衆の心に響きました

何気ない日常が 宝物に

軽米中学校（遠藤岳校長）の卒業式が3月13日に開かれ、卒業生61人が仲間や恩師との別れを涙ながらに惜しましました。

遠藤校長から卒業証書を受け取った後、卒業生を代表し内澤明未さんが「コロナ禍で大変な一年だったからこそ、何気ない日常が当たり前ではないということに気付かされ、いつまでも心に残る大切な宝物になりました。これからの人生で壁に直面したとき、思い出すのはこの一年。言葉にできないほどの感謝の気持ちを伝えたい人たちに囲まれ、こうして卒業式を迎えられた私たちは幸せ者です。これからの時も感謝を忘れず、一歩一歩前を向いて歩んでいきます」と答辞を述べました。

1 遠藤校長から卒業証書を受け取る 2 合唱の際も全員マスクを着けて





1_受賞を報告した16人の団員
2_山本町長から表彰状を受け取る

令和2年度岩手県消防表彰 日ごろの消防活動を評価

- 令** 和2年度県消防表彰
代替表彰式が3月18日に役場で行われました。
以下受賞者を紹介。(敬称略)
- 県知事表彰**
分団長 中村保彦
副分団長 紫葉守
副分団長 山下幸彦
部長 馬場孝悦
部長 板橋博文
部長 檀澤一相
- 県消防協会会長表彰**
分団長 畑林悦男
分団長 細谷地司
副分団長 鶴飼治彦
副分団長 於本勝彦
副分団長 山下幸彦
- 県消防協会会長感謝状**
内助功労 下屋敷眞由美
- 消防庁長官定例表彰**
分団長 小笠原充夫
- 日本消防協会定例表彰**
副団長 山野下信夫
副団長 田代啓吉
分団長 鶴飼利幸
分団長 清水隆治
副分団長 鶴飼治彦
部長 紫葉雅彦
部長 瀧澤清幸
団員 中館良紀
団員 高田剛



1_聖火が入ったランタンを眺める子どもたち
2_聖火に祈りを重ねる(左から工藤さん、達増知事、山本町長)

東京2020オリンピック 希望の聖火が軽米に

東 京2020オリンピック聖火展示が3月12日に町民体育館で開かれました。この聖火展示は、県内の聖火リレーのルートに入っていない5町村で開かれ、軽米町を皮切りに行われました。

オープニングセレモニーでは、達増拓也岩手県知事や山本賢一町長、町公募の聖火ランナー工藤之子さん(下田子下組)、軽米中学校の生徒など200人が参加。山本町長は「聖火を間近に見られる貴重な機会。平和や震災復興への思いを感じ取ってほしい」とあいさつしました。

会場には、昨年3月にギリシャで採火された聖火が入ったランタンが展示され、来場者は写真を撮るなどして楽しんでいました。浅水滯さん(軽米中1年)は「想像していたよりきれいな火だった。オリンピックはあまり見たことがなかったけど、今年はたくさん競技を見たいです」と笑みを浮かべました。



3_聖火は高さ30㍉、直径9㍉、重さ1.8㍉の真ちゅう製のランタン入り
4_創作太鼓の会「座・宇漢米」が聖火の到着に華を添えた
5_6_会場では、聖火リレーチームも展示され、手に取り写真を撮る来場者も
7_町民体育館のほか、小軽米、晴山小学校でも展示された



岩手県食の匠 笹山ひとみさんが認定

地域の食文化を受け継ぎ、次代への伝承ができる方に贈られる岩手県食の匠に、笹山ひとみさん(新井田)が「てんぼ」で認定されました。町内の認定者は笹山さんで6人目となります。

3月24日に山本町長に認定を報告した笹山さんは「てんぼ作りは平成18年から始め、軽米町の南部小麦を使うなど工夫して作っている。賞状などをいただき認定の重みを感じているが、これから食の匠に見合うような活動をしていきたい」と思いを新たにしていました。

↓「軽米保育園」の看板を町に返還



57年の歴史に幕

軽米保育園閉園式

軽米保育園の閉園式が3月24日に執り行われました。同園は令和3年度から同じく閉園する軽米幼稚園と統合し、保育所型認定こども園の「花のまち軽米こども園」としてスタートします。外山充園長は「57年の歴史を築き、支えていただいた皆様に感謝いたします。今後は花のまち軽米こども園として、さらなる幼児教育の充実に取り組んでいく」と話しました。

↓今シーズンの抱負を語った有永選手（左）と松山選手



J2昇格を目指す

いわてグルージャ盛岡来庁

いわてグルージャ盛岡の有永一生選手と松山健太選手が3月23日に町役場を訪れ、山本賢一町長に今シーズンの意気込みを語りました。グルージャ盛岡はホームタウンプロジェクトとして、県内各市町村を訪れたり、市町村とコラボしたポスターを制作したりしています。二人は「今年は必ずJ2昇格ができるように頑張っていきたい」と力強く話しました。



新装オープン大盛況

ミル・みるハウスがリニューアル

より利用しやすく地域に親しまれる施設を目指すため昨年10月から改修工事が進んでいた「ミル・みるハウス」がこの度、新装グランドオープンしました。リニューアル内容は「駐車場の拡張」「レストランの一新」「産直スペースの拡張」「自動ドア・全館LED照明化」「屋根の塗装」などです。

3月27日と28日には、オープンセールとミニイベントが行われました。晴山小学校の児童が考案した「さるなっし〜」の和菓子や大人気メニューとり天パターが値引き価格で販売されるなど、お得で楽しい2日間となり、会場には地元の食材を買い求めるたくさんの方が訪れ賑わいを見せていました。

1. 多くの方が訪れ賑わいを見せた 2. リニューアルされたレストランの飲食スペース。感染症対策もバッチリ 3. 店外には「さるなしドリンク」「さるなしサイダー」が購入できる自動販売機を新設 4. 晴山小児童が考案した「さるなっし〜」の和菓子は数量制限での購入となるなど大好評だった

↓百歳を迎えた小笠原さん（中央）



小笠原幸三さんが100歳に

百寿のお祝い

この度、小笠原幸三さん（岩崎）が誕生日を迎え、めでたく100歳となりました。小笠原さんは、大正10年3月10日生まれ。3月11日に入所している花の里かるまいで山本町長から百寿をお祝いされました。小笠原さんは「若い頃からよく働き体を鍛えたことと食べものは好き嫌いせず何でも食べていることが長生きの秘訣です」と自分で話すなど元気な様子でした。

↓3枚のブレードが回転することで発電



風力発電施設が町内に

軽米風力発電所

くろしお風力発電(株)が建設した風力発電施設「軽米風力発電所」が2月1日から売電を開始しています。立地場所は晴山地区第27地割で、最大出力は1,990kW。町の「再生可能エネルギー発電の促進による農山村活性化計画」に基づき建設され、発電した電気は東北電力(株)の配電線に連携し、売電されています。風力発電施設の建設は町内初です。

↓手作りのひな人形を手に持つ園児



ひな人形を作ったよ!

ひなまつり会・小軽米保育園

小軽米保育園で3月3日、ひなまつり会が行われました。ホールに飾られた雛壇の前で保育士からお話を聞いてひなまつりについて学んだ園児たちは、それぞれ自分で作ったひな人形を披露。瀧澤結乃ちゃんが「おひなさまの顔がお気に入り」と笑顔で話すなど、それぞれ気に入っているところや大変だったところを発表しました。

↓受賞を喜ぶ坂本さん（左）と平さん



2人の統計調査員に表彰

長年の統計調査業務に感謝

この度、平邦雄さん（平）が「2020年農林業センサス功績者農林水産大臣表彰」を、坂本武道さん（板橋）が「経済産業省所管統計功績者経済産業大臣表彰」を受賞しました。平さんは昭和44年から現在まで計11回の農林業センサスに従事し、坂本さんは昭和57年から現在まで、計30回の工業統計調査に従事した活動などが高く評価されました。

役場新体制を紹介

4月1日付、太字は人事異動

教育委員会事務局		再生可能エネルギー推進室 (監査委員事務局)	健康福祉課	地域整備課 (水道事業所)
大清水一敬	小林千鶴子	梅木勝彦(兼)	内城良子	工藤薫
生涯学習	教育総務	健康ふれあいセンター	小軽米保育園	環境整備
工藤祥子	長瀬設男	角田貴浩(兼)	花のまち 軽米こども園	戸草内和典
藤田直行 清水裕輝	関向幹也 藤田直行	兼田一史 福田浩司	菅渡保育園	神久保恵蔵 玉館博一 大渡陽春
関向哲志 蛇口彩菜	寺地亜紀子 戸田沢光彦 古館義明	福田浩司	晴山保育園	小笠原信也 野中翔平 工藤航也
			小林留美子	八幡美紀 圃田菜穂実 田代沙織
			中村由季	下谷地由美子 紫葉優樹 田代沙織
			外山充	工藤晃子 日向安子 野中孝博
			角田貴浩	於本博之 山田里美 小林真由美
			健康づくり	加藤美紀 古館里美 山道顕子
			福祉	古里京子 佐々木久
			小笠原隆人	新井田直子
			中村勇雄	野中恵美子
			上下水道	安藤美由紀 坂本麻衣子 吉田彩香
			戸草内和典	及川あずさ 田中里実 小林茉莉
			小笠原亨	吉岡芳幸 <small>(小軽米保育園兼務)</small> 平船シズエ
			小笠原信也	高田牧子 増尾祐子 金田奈々
			野中恵美子	古川唯 藤田由貴子 日山侑香
			長坂佐知子	堀米豊樹 <small>(小軽米保育園兼務)</small>
			松浦近子	
			大渡陽春	

再任用 吉岡 靖 日山 充 川原木 純二 於本 一則 坂下 浩志 杉浦 謙二 中野 武美 新井田 一徳 佐々木 久 堀米 豊樹 松浦 近子 小林 浩 長坂 佐知子

産業振興課	町民生活課	税務会計課	総務課	課・局・室
江刺家雅弘 (農業委員会事務局長兼任)	松山篤	福島貴浩	梅木勝彦 (選挙管理委員会事務局長兼任)	総括課長等
農工観光	出張所	収納・会計	総務	担当
農林振興	町民生活	課税	企画	担当課長等
農政企画 (農業委員会事務局)	橋場光雄	福島貴浩(兼)	日山一則	
鶴飼靖紀	菅原里枝 小野寺悟 小森貴大	古館寿徳	吉岡靖	
竹澤泰司	明岡寿	上村利広	川原木純二	
鶴飼義信 工藤正弥	新井田一徳	輪達ひろか 川島幸徳	永井重徳 <small>(二戸地区広域行政事務所)</small> 於本一則 <small>(社会福祉協議会)</small> 杉浦謙二 <small>(社会福祉協議会)</small> 坂下浩志 <small>(社会福祉協議会)</small>	
山下博之 松坂俊也 川島康夫	寺地隆之 山田のぞみ 紫葉敬太	佐々木莉紗	坂本隆磨 川原愛実 <small>(選挙管理委員会事務局兼任)</small>	
輪達隆志 久保田史葉	小野寺蘭子 菅波奈歩	小笠原達夫 大村亮憲 笹山泰高	小笠原純二	
		山下善昭 古里結美 遠藤樹	田中裕子	
		日山一則 工藤剛	山下海斗 日山充 工藤剛	

退職者 吉岡 靖 坂下 浩志 小林 浩 戸田沢 光彦 福田 浩司 川崎 弥生 長坂 佐知子 日脇 邦昭 畑中 幸夫 木戸口 美里

New Face 新採用職員の抱負



産業振興課 主事
工藤 正弥 (32歳=下新町)

岩手町出身ですが縁があって、軽米町民となりました。分からないことも多いとは思いますが、軽米町のために尽力する所存です。よろしくお願ひします。



産業振興課 主事
菅波 奈歩 (29歳=上館)

地域の方々とのふれあいを大切に、町職員としての自覚を持って行動したいと思います。不安もありますが、町民のみなさんのお力になれるよう頑張ります。



総務課 主事補
山下 海斗 (22歳=屋敷)

早く正確に仕事ができるように努力します。一日でも早く業務を覚え、一人前になれるように頑張ります。



地域整備課 技師補
大渡 陽春 (18歳=八戸市)

公務員として恥のないような行動を心がけ、報告・連絡・相談を徹底します。また、分からない仕事はしっかり聞き、早く仕事を覚えられるように頑張っていきたいと思います。



花のまち軽米こども園 保育士
中村 里瑚 (22歳=八戸市)

子どもたちが安心して過ごせるような保育士を目指して頑張ります。未熟な点もありますが、何事にも元氣いっぱい取り組んでいきたいと思ひます。



教育委員会事務局 主事補
蛇口 彩菜 (22歳=上円子)

自然が豊かで文化が多数伝わり、穏やかで温かい雰囲気がある。軽米町の魅力を、町民の皆様とともに再発見し、町の発展に貢献できるよう努力してまいります。

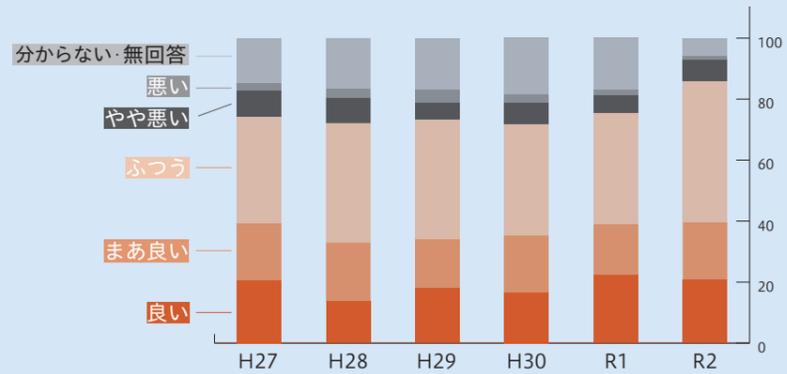


小軽米保育園 保育士
小林 茉莉 (20歳=河北)

仕事や雰囲気早く慣れ、先生方からたくさんのお話を吸収して保育士として成長したいです。子どもの個性を尊重し、楽しく通ってもらえるように頑張っていきたいです。

■職員の窓口対応について

令和2年度の調査では、職員の総合的な窓口対応について「やや悪い」「悪い」と回答した人が7.4%となりました。窓口対応職員の業務の理解できていないという指摘や、来庁者や職員によって対応が違うことへの不満、明るく懇切丁寧な対応を求める意見が多く挙がりました。



result

町民意識調査の結果を公表します

町は、令和2年度町民意識調査を実施し、無作為に選出した町民450人にご協力いただきました。調査の概要をお知らせします。

問い合わせ 総務課・企画担当 ☎46-2111

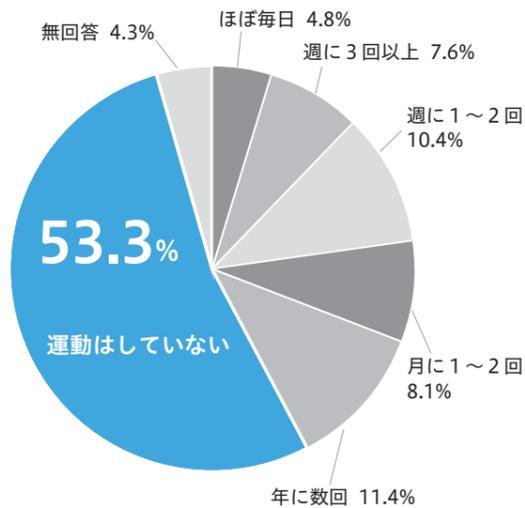


調査結果の詳細は、上記QRコードまたは、役場1階町民ホールでご確認いただけます。

question

04

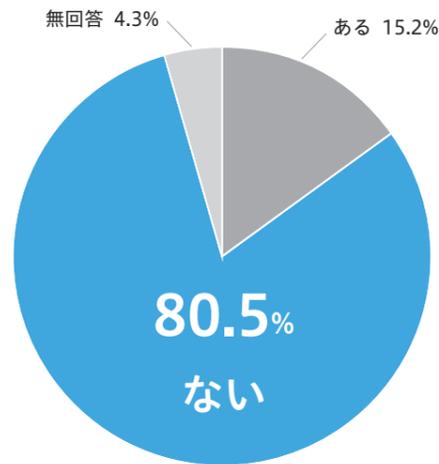
この1年間、どのくらいの頻度で運動やスポーツを行ったか



question

05

ここ5年間、町総体に1回でも参加したことがあるか

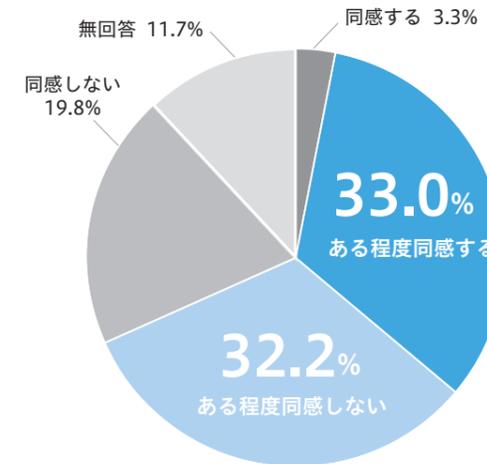


※町総体は「軽米町総合体育大会」の略で、今回の問いでは、町民体育祭、バレーボール、ゲートボール、卓球、パークゴルフ、軟式野球、グラウンドゴルフのいずれか1つでも参加したことがあるかどうかを尋ねた。

question

01

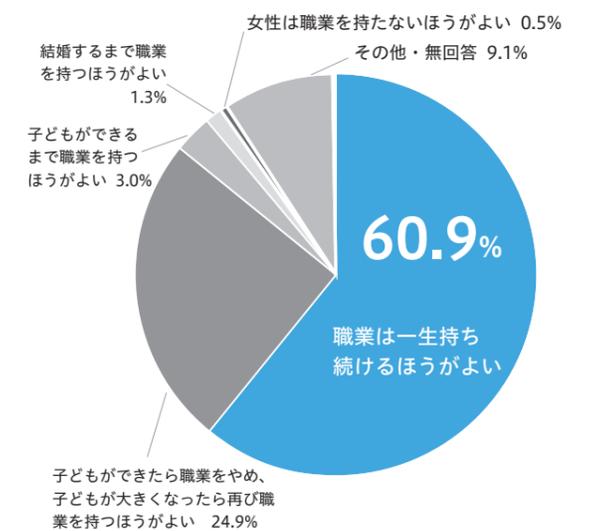
「男は仕事、女は家庭・育児」という考え方について



question

02

一般的に、女性が職業を持つことについてどう思うか



question

06

スポーツを振興させるために、町はどのようなことに力をいれるべきか

- 公園など日ごろ運動できる施設の整備 …… 22.0%
- 屋内体育施設の整備・拡充 …… 15.3%
- スポーツジムなどの整備 …… 12.8%
- 屋外体育施設の整備・拡充 …… 9.7%
- 指導者の育成 …… 9.2%
- 体育施設の利用状況やスポーツ活動についての情報発信 …… 8.7%
- 学校施設などの有効活用 …… 8.0%
- スポーツイベントの開催 …… 7.7%
- スポーツ団体の支援 …… 5.5%
- その他 …… 1.2%

question

03

男女がともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要か

- 夫婦や家庭間でコミュニケーションをよくはかること …… 17.6%
- 年配者や周りの人が夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること …… 14.0%
- 社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について、その評価を高めること …… 13.8%
- 職場における上司や周囲の理解を進めること …… 13.2%
- 男性の抵抗感をなくすこと …… 12.8%
- 多様な働き方の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること …… 10.8%
- 男性が育児や介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りを進めること …… 6.6%
- 啓発や情報提供、相談窓口の設置、技術の研修を行うこと …… 4.1%
- その他 …… 0.6%

Karumai photo studio
かるまいね!

ダーウィンが来た!?

撮影者 広報担当
撮影場所 米田
撮影日 2018/9/15



車の運転中、鷹?が蛇を捉えて飛ぶ瞬間に出会い、急いでカメラを取り出し撮影しました。リアル「ダーウィンが来た!」のような瞬間を目撃できて興奮したのを覚えています。

写真募集中

軽米町とゆかりのある物・人・場所なら
どんな写真でもオッケー!!写真採用者
には、図書カードをお送りします。

■応募方法

右のQRコードからご応募ください。
(kouhou@town.karumai.iwate.jpまで)



follow me!!

Instagram始めました。

町は、町外への魅力発信のため、Instagramを4月から開始しました。また、ハッシュタグ「かるまいね!」で投稿した写真は、広報紙に掲載させていただくことがありますのでお気軽にご投稿ください。

■アカウント名 karumai_official

皆さんからの応募を
お待ちしております

■すこやかさん

- 対象者 概ね7歳以下の子ども
- 必要事項
件名「すこやかさん応募」、氏名(親・子)、住所、電話番号、写真(撮影を依頼する場合はその旨記載)、お子さんの紹介文

■かるまいね!

- 対象写真
町内で撮影した、軽米出身の人が撮影したなど軽米に関連する写真なら何でもオッケー。
- 必要事項
件名「かるまいね!応募」、氏名、ペンネーム(必要な場合のみ)、写真、写真のタイトル、撮影日、撮影場所、写真の紹介文

■応募先 kouhou@town.karumai.iwate.jp

町文化協会 北光吟社 2月例会会

「ただいま」に慌て温める和布汁 君成田美代子
バレンタイン孫の義理チョコあたたかし 高橋美智子
十年を経て繰り返す春の地震 丹下美恵子
ふたたびの入院となり雪解風 千葉ふみ子
紙雛の賑やかなりし書架の上 中野とき子
猛吹雪昼夜街燈影薄く 東登希枝
潮香りちぢむわかめや窓際に 清水雪子
吹き荒ぶ里を見下す雪女郎 川崎郁子
生かされて生きて八十路の年酒呑む 千葉紅園
雪間より葱の折れ伏す敵の列 三上千栄女
夜明とも紛ふ障子の雪明り 松村英子
白梅や庭の一輪風に揺る 長島龍泉

Dreams come trues

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

山下 心緒 さん(晴山小学校6年)

手や爪のことに詳しくなって、
ネイリストになりたい。

ネイリストさんに、ジェルネイルをしてもらいました。青いグラデーションがとてもきれいでした。

私の将来の夢はネイリストになることです。母と行った店でネイリストさんが仕上げてくれた自分の爪を見て心魅かれました。

ネイリストになるために私は、手のこと、爪のことに詳しくなって、資格を取りたいと思います。手先も器用になりたいと思います。

お客さんとの接しかたも学び、コミュニケーション力を高め、私の爪にネイルをしてくれた方に認めてもらえるようなネイリストになれるようがんばりたいと思います。



News from library

図書館だより

児童生徒のおすすめ本と今月の新刊を紹介します
図書館利用案内 ▶貸出冊数：1人10冊まで
▶貸出期間：2週間以内

■お気に入りの一冊

泉山 花穂 さん(軽米小学校6年)

まっしょうめん!

著/あさだりん
絵/新井陽次郎 (偕成社)

この本は、主人公・成美のお父さんが海外赴任先で「うちのむすめはサムライです」という発言をしてしまい、武道に入らなければならなくなってしまった所から始まります。私は、成美が初めて試合で一本取ったところが一番好きです。成美が選んだ剣道。理由はただ一つ、「練習日が一番少なかったから」。この選択が成美の人生を変えていきます。ぜひ手に取ってみてください。



児童書

たまごのはなし

作/しおたにまみこ
(ブロンズ新社)

ある日とつぜん目を覚ましたたまご。はじめて歩き、考える。マシュマロを起こして、家の中をさんぽ。個性的で不思議な3つのおはなし。



一般書

ヴィンテージガール
仕立屋探偵桐ヶ谷京介

著/川瀬七緒 (講談社)

商店街で小さな仕立て屋を営む京介。服のシワを見ればその人の受けた暴力などがわかる彼は、偶然目にした公開捜査番組の遺留品が気が掛かり...



テーマ図書展

パッパカパン

4月12日は「パンの記念日」。1842年のこの日、軍用に用いるために日本で初めてパンが本格的に製造されました。今では、日本人にとってもごく普通の食べ物になったパンですが、さて、あなたの一番好きなパンは何ですか?



みんなの国民年金

国民年金保険料は納期限までに納めましょう！

町民生活課・町民生活担当

令 和3年4月分から令和4年3月分までの国民年金保険料は、月額16,610円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネットなどを利用しての納付、そして便利でお得な口座振替もあります。

納付期限は法令で「納付対象月の翌月末日」と定められています。納期限までに保険料を納めないとい障害基礎年金や遺族基礎年金を受け給できない場合がありますので、忘れずにお納めください。

また、所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、保険料が免除・猶予される制度がありますのでご相談ください。

※納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者とその世帯主です。

■問い合わせ
二戸年金事務所 23-4111
町民生活課 46-4734



健康メモ

備えあれば、 うれい（患い）なし

健康福祉課・健康づくり担当 下谷地 由美子

前 もって準備をしておけば、いざというときに何が起きても心配無用という意味ですね。ご自身の生活習慣について、自己チェックしてみましょう。

○食習慣
青魚や緑黄色野菜、果物など、毎日の食事に気を配り、よく噛んで食べましょう。お酒は適量、たばこはいつやめても効果があるとされます。

○運動習慣
足腰が衰えると、日常のあらゆる場面に制限が加わります。年だから仕方がないとあきらめず、体を使うことで、向上させることが出来ます。

○趣味活動や社会参加
コロナ禍で外出を控えている方も多いと思いますが、食事や運動と同じくらい人とのつながりや買い物などの社会参加も大切です。趣味や好きなことを継続しながら、気の合う仲間や家族との交流を楽しんで！

○病気の予防と早期発見
引き続き、手洗い、うがい、3密を避けるなどの感染要望を徹底しましょう。かかりつけ医や薬剤師など自分の体のことを気軽に相談できる関係も大切にしましょう。

休日当番医

日	内科	電話	歯科	電話
4/25	ほそかわ小児科クリニック(二)	26-8100	岩淵歯科医院(一)	32-2238
4/29	小野寺内科医院(一)	33-2505	沢藤歯科医院(二)	25-4002
5/2	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	ぼっぽ歯科クリニック(一)	31-1182
5/3	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	菅原歯科クリニック(二)	23-1180
5/4	かわさきクリニック(二)	26-9900	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
5/5	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	森川歯科医院(二)	23-6361
5/9	浄法寺診療所(二)	38-2021	國香歯科医院(二戸市石切所)	23-2764

軽米病院だより

感染者の保護

軽米病院 院長 横島孝雄



軽 米病院で新型コロナウイルスの感染者が出たことは周知のことと思います。保健所の指導のもとに、必要な部分の消毒と、接触者のPCR検査・自宅待機を行い、感染拡大はありませんでした。

検査を受けた接触者は、おそらく陰性だろうと考えていても結果が出るまで心配でたまらなかつたようです。

ひるがえって考えると、実際に陽性と言われたときのショックはいかばかりでしょうか。一番大変な思いをしているのは感染した当事者に間違いのないと思います。

感染対策をしていたとしても、うっかりマスクを外したとか、何かに触ったとかで、日常生活の中では誰でも新型コロナウイルスに感染する可能性があります。誰が悪いとか、何が悪かったとか追及しても仕方がありません。

新型コロナウイルス感染症も、いずれはインフルエンザと同じようにありふれた病気になるはずですし、観察期間が過ぎれば、直ちに以前の生活に戻れます。

大変な思いをして感染を乗り越えた人を、暖かく迎える社会であってほしいと思います。

手造り 仕出し 味 彩

テイクアウト予約承ります
純和鶏(唐揚げ・焼き鳥)
折詰・弁当・オードブルにお気軽にお電話ください。
軽米町大字軽米11-127-4 ☎46-3680

日帰り白内障手術・小児眼科

白山台くに眼科

院長 日本眼科学会認定専門医 濱端久仁子

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~11:30	●	●	●	●	●	●
14:00~16:30	●	●	●	●	●	●

手術 ● 注射 ●

休診日:毎週水曜・第4土曜日
TEL:0178-51-9251

ハピコ
ハピニュータウンショッピングセンター
白山台小学校
いとう整形外科
いとう内科
いとう整形第2駐車場内・うしろ内科棟と同じ建物の左側です
ハピインターより車で3分

宮沢 歯科 医院

健康は『健口』から

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土
一般歯科	9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
口腔外科	14:00~18:00	●	●	●	●	●	●

※予約制・当日予約可 休診日 日曜・祝日 第1,3土曜日

宮沢歯科医院 軽米町 検索 九戸郡軽米町軽米8-105 ☎0195-46-2953

広告募集

1号広告(本枠) 4,000円(カラーは6,000円)
※半年以上の連続掲載で割引あり。残り1枠のみです。
問 総務課・企画担当 ☎46-2111

戸籍の窓口

2月1日～2月28日 ※敬称略

おめでとう

佐藤 之仁 向川原 匠・美希

おくやみ

蛇口 シケ	(90)	上円子
高田 マリ	(82)	大町
工藤 宏	(83)	山田
松山 ヨシエ	(95)	上増子内
奥谷 昭男	(80)	屋敷
小林 直哉	(89)	駒板
七戸 安藏	(88)	仲軽米
神久保 春藏	(91)	観音林南
寺澤 邦雄	(67)	向高家
奥谷 馨	(82)	屋敷
上條 孫吉	(91)	君成田
小林 トキ	(95)	大久保
川原木 和子	(94)	岩崎
波柴 スエ	(88)	上新町
泉山 トモ	(87)	向川原



↑卒業式の様子 答辞（松橋駿人さん 写真右上）送辞（圃田咲弥さん 写真右下）

軽高だより

軽米高校卒業式

3月1日に軽米高校卒業式が行われました。感染症予防のため、昨年度同様に規模を縮小して実施し、無事に終わることができました。金濱千明校長は式辞で卒業生に対し、「幸福を求めていくための三つの心がけとして、『学び続けること』『どんな困難にもへこたれないこと』『周りの人に感謝と敬意をもつこと』が大切であるとし、その心がけを実践することで、みなさんのこれからの前途が幸福に満ちたものとなると思う」と話しました。卒業生代表の松橋駿人（3年2組）さんは、高校3年間の思い出や苦労、今後の軽米高校への期待や、在校生や家族、教職員への感謝の気持ちを述べ、「軽米高校で学んだことを灯台として生きていきたい」と力強く話しました。

3年間の高校生活の中で、さまざまな経験を積み重ね成長した卒業生43名の今後の活躍が期待されます。

姉妹町だより

↓来場者に説明する山西会長（左）



自然が作り上げた美しさに感動

おとふけ写真クラブ(山西信一会長、会員13人)が図書館で第35回目となる写真展を開催し、町内などで撮影された写真40作品が展示されました。山西会長は「自然や動物のほか、歴史をテーマとした作品を展示しました。自然が作り上げた四季折々の優しさを感じて欲しいです」と話していました。

北海道音更町

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約44,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、昭和60年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身の滝菜月さん(日本テレビアナウンサー)。

地域おこし協力隊通信

↓地域おこし協力隊の菅野さん(右)と町おこしの一環で新商品「ざるなしどら焼き」を考案してくれた松浦駿さん



みんなで軽米を盛り上げましょう

地域おこし協力隊の菅野由喜男です。昨年4月に仙台から軽米に来て早1年が経ちました。飲食店や会社経営の経験を生かして地域の活性化に取り組んでいきたい！と思っておりましたがコロナの影響などでなかなか思うように活動できませんでした。現在は産業開発内で新商品の開発や企業誘致などを行っています。「なぜ地域おこしを？」とよく聞かれます。答えは「かるまい」だったからです。脱炭素社会に取り組む先進的な町であることに大きな魅力を感じました。今後は町民の皆さんと一緒に新商品の開発やまちづくりの意見交換などを行っていききたいと思います。「明るく・元気に・楽しく」が私のモットーです。一緒に町おこししませんか？少しでも興味のある方はkarumai.kanno@gmail.comまでお気軽にメールをお寄せください。(町内業者さんも大歓迎です)

人の動き

2月28日時点 ()内は先月比

人口	8,735人 (-17)
男性	4,293人 (-6)
女性	4,442人 (-11)
世帯数	3,763世帯 (-1)
転入	10人
転出	12人
出生	1人
死亡	16人

火災・救急

2月末、()内は今年の累計

火災	0件 (0件)
救急	37件 (72件)

交通事故

2月末、()内は今年の累計

人身事故	0件 (0件)
死亡者	0人 (0人)
物損事故	17件 (33件)



広報かるまいは、環境に配慮した用紙を使用しています。

玉姫グループ 葬儀・法要専門会館

セレモニーホール

玉泉院

0120-494-109

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600

久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061

軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109

福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440

九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

その人生に感謝を。

一緒に動こう!!

プライフーズ株式会社 軽米工場

従業員募集

従業員・アルバイトを募集しています。まずは、お気軽にお電話ください。
軽米町大字上館第20地割1-2 ☎46-2421 FAX: 46-4274 (担当: 青木まで)

未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。

Prifoods.
プライフーズ

「座・宇漢米」を立ち上げて

今年で35周年——。

感動を伝えられるよう、

これからも活動し続ける。



創作太鼓「座・宇漢米」会長
堀米 成嘉さん
HORIMAI SHIGEYOSHI

軽米の輝き人 vol.01

One and only brilliance

創作太鼓の会「座・宇漢米」が結成から今年で35周年を迎える。町内外多数のイベントに出演し、和太鼓ならではの勇壮な響きで、私たちに元気と感動を届けてきた。

活動を引っ張ってきたのは、会長の堀米成嘉さん。「結成当初はメンバー全員が未経験だったので、最初の3年くらいはイベントに出ながら練習するような感覚でやっています。地道に活動を続けると、呼んでいた機会が増え、年間30回出演したこともありました。東京都で開催されたイベントに出演した時、在京軽米会の人々が駆けつけ、喜んでくれたのが思い出に残っています。まもなく35周年。これまでさまざまな苦労があったが「自営業をしながら太鼓などの活動を続けてこれたのは妻のおかげ。理解はしてくれませんが、ずっと協力してくれています。妻なくして私の人生は語れません」と感謝を口にします。

今後は、後進の育成など課題もあると思う。それでも「太鼓の活動を通して、人とのつながりが広がった。人との出会いを培ってこられたのは本当に幸せなこと。これからも体が続く限りは続けて、感動を届けられるように頑張りたいですね」と意気込む。

編集後記 ▶中学生の時、卒業式で答辞を務めました。出番までずっと足の震えが止まらず人生で一番緊張した思い出があるので、広報担当になり取材に行くようになってからは、生徒代表で前に出る子を「頑張れー」と心の中で応援しながら写真を撮っています。そんな中、今年軽米中学校で答辞を務めた内澤さん(関連16歳)は本当に素晴らしいです。涙をこらえながらも力強く話す姿から、仲間との思い出、コロナで思うようにならなかった1年間の悔しさ、支えてくれた人への感謝の気持ちなどさまざまな感情が伝わってきて感動しました！内澤さんをはじめ卒業生の皆さんがそれぞれの道で輝き、自分の意志で人生を切り開いていくことを願っています。▶本号をもって、広報担当を卒業することになりました。自分に務まるのだろうかという不安しかなかった4年前の4月、写真やデザインなど全て未経験からのスタートだったということもあり、正直大変なことばかりでした。それでも、広報紙を読んで温かい言葉をかけてくださる町民の皆さんの優しさや毎月丁寧に校正をしてくれた役場職員の協力、また、県内外の素晴らしい広報マンとの出会いのおかげでここまでやりがいを持って続けることができました。まだまだ突き詰められた部分や紹介できなかったことがたくさんあるので、そういった心残りは後任に託したいと思えます。4年間、取材にご協力いただき、そして広報紙をお読みくださりありがとうございます。担当者は変わりますが、これからも「広報かるまい」をよろしく願います！（清）